公立小野町地方綜合病院から

◎ホールボディカウンターの受納式および開所式が行われました

開所式の様子

ホールボディカウンター（内部被ばく検査測定機器）の受納式および開所式が1月10日、当病院で行われました。

これは、ライオンズクラブ国際協会から、地域住民の放射線内部被ばく管理と不安解消、安心確保を目的に、福島県内に3台寄贈され、そのうち1台を当病院に寄贈いただいたものです。

受納式では、ライオンズクラブ国際協会332-D地区ガバナー坂本さんから当病院の宍戸理事長（町長）にホールボディカウンター取扱説明書の贈呈があり、引き続き行われた開所式では、ホールボディカウンター検査室でテープカットが行われました。

このたびのご厚意に対し、紙上より厚くお礼申し上げます。

なおホールボディカウンター検査の詳しい内容については、お問い合わせください。

問公立小野町地方綜合病院総務課　☎ 72-3181

◎平成27年1月の新病院開院を目指して

当病院は、内科をはじめ10科の診療を行うほか、119床の入院病棟、人工透析治療、訪問看護など地域に密着し、地域の皆さんに不可欠な医療サービスの提供に努めています。

震災以降は、入院、外来患者数はともに増加傾向にあり、1日も早い新病院建設が期待されています。

新病院建設に当たっては、設計段階から施工業者の知識、技術、ノウハウなどを最大限に発揮でき、また工期の短縮、コスト縮減が期待できる「設計施工一括発注公募型プロポーザル方式※」を採用し、このたび、施工業者が決定しました。

この秋には、建設に係る設計を完了し11月頃から建設工事に着手し、平成27年1月の開院に向け作業を進めています。

新病院は、現在の診療科目や入院機能を維持するほか、地域に不足する診療科目の開設に努めてまいります。

※「設計・施工一括発注公募型プロポーザル方式」とは、設計と施工を一括して同一の事業者に発注するもので、事業者選定に当たり参加希望者を公募し、設計および施工に関する技術提案書の提出を求め、審査によって妥当と認められた技術提案書（価格提案を加味して総合的に評価）の提出者を事業者として選定する方式です。